

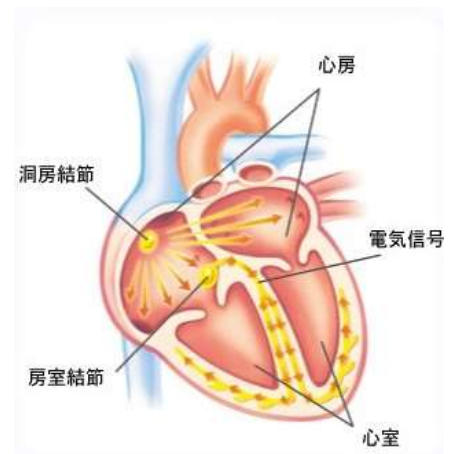


ペースメーカーについて - その① -

【担当：臨床工学科】

<心臓のはたらき>

私たちの体は、血液から酸素や栄養素などを取り入れています。そして、この血液を全身に送り出しているのが心臓です。正常な心臓は1分間に60～80回程、規則的に全身に血液を送り出しています。心臓が規則的に拍動するには、歩調取りの命令を出す「洞(房)結節」とそれを伝える道「刺激伝導路」が重要となります。



<ペースメーカーって?>



心臓が何らかの理由で拍動が1分間に50回以下になった脈を「徐脈」と呼びますが、なかにはその拍動が突然少なくなったり、急に止まってしまうこともあります。徐脈となっている間は、全身に必要とされているだけの血液量が不足となり、めまいや疲労を感じたり、場合によっては失神に至ることもあります。そのような症状が起こらないように機械的に歩調取りをしてくれるのがペースメーカーとなります。ペースメーカーは主に電池や制御回路からなる本体と電極のついたリードからなります。心臓のリズムを見守り、徐脈が発生した時や、活動時などの身体の状態に応じ、より多くの拍動が必要なときにそれらを補うよう設計されています。

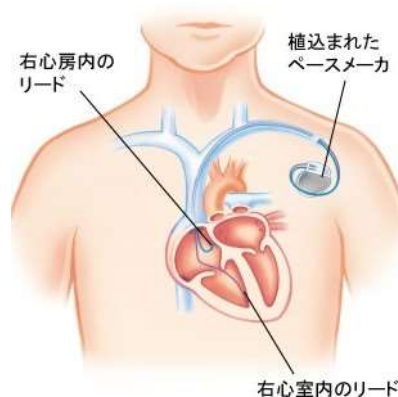
ペースメーカーは主に電池や制御回路からなる本体と電極のついたリードからなります。心臓のリズムを見守り、徐脈が発生した時や、活動時などの身体の状態に応じ、より多くの拍動が必要なときにそれらを補うよう設計されています。

ペースメーカーを植え込むことによって、徐脈のため制限されていた仕事、趣味、軽い運動、旅行などを、また楽しむことができるようになります。

<ペースメーカーと上手に付き合うには>

現在多くのペースメーカーは、状況に合わせて自動で脈拍を調整するさまざまな機能を備えています。それでも、全てが自動で働くわけではなく、患者さんの状況に合わせて

働く為には、定期的な管理は欠かせません。人間の体の調子が毎日変わるように、ペースメーカーの調整も必要になるのです。当院では通常、患者さんの状況に合わせ3~6ヶ月間隔で心電図、胸のレントゲン、ペースメーカーのチェックを行っています。他にも最近では遠隔モニタリングと呼ばれる方法も普及しつつあります。データをネットワーク経由で専用サーバへ送信し医療スタッフが確認するシステムで、異常の早期発見につながるメリットがありますが、来院での定期チェックはそのまま必要となります。またペースメーカーを使用するに当たり幾つか注意事項があります。



＜こんな時はご注意を！＞

・病院でレントゲンやCT、MRI 検査を受けるとき

検査機器によっては、ペースメーカーに影響を与えるものもあります。受診の際には必ず主治医にペースメーカーを使用している旨を伝えてください。

・充電器で電気自動車に充電をするとき

電気自動車の普及とともに充電器の設置が進んでいますが、充電器がペースメーカーに一時的な影響を与える場合があります。充電中のスタンドや、充電ケーブルには近づかないようにしましょう。

・スマートキーシステム搭載の自動車に乗車するとき

植え込み部位を車載アンテナから22cm以上離してください。乗車中の車内に残る場合には、携帯キーを車外に持ち出さないようにして下さい。

・IH(Induction Heating) 調理器を使用しているとき

保温中のIH炊飯器には、手の届く範囲に近づかないでください。植え込み部位が使用中のIH調理器に近づくような姿勢をとらないでください。

・ワイヤレスカードシステムを使用するとき

ワイヤレスカードシステムは、駅の改札口や自動販売機、会社の入退室管理等で幅広く使用されています。使用するときは、読み取り機から12cm以上離れるようにして下さい。

・電子商品監視機器(EAS)のそばを通るとき

出入り口にEASが設置されている店舗や図書館が増えてきています。お店の出入り口では立ち止まらず、中央付近を通過して下さい。設置がカモフラージュされている場合もあります。

・携帯電話、スマートフォンを使用するとき

通話をするときは植え込み部位と反対側の耳に当てるなどして、植え込み部位から15cm以上離してください。

・その他

肩こり治療などに使用される低周波治療機器、高周波治療機器、筋肉増強用電子機器(EMS)、体脂肪計、電気風呂は高い確率でペースメーカーに悪影響を及ぼします。使用しないようにしましょう。

いずれの場合も、体の異常(めまい、ふらつき、動悸等)を感じた場合はその場から離れましょう。少し休んでも改善しない場合は、定期受診している病院に連絡をして下さい。

*** 取り上げて欲しい病気や検査、質問等がありましたら、投書箱やよろず相談窓口までお気軽に声をかけてください。企画の参考にさせていただきます。**

